

周南たちばな学園 袋井市立三川小学校 学校だより

令和3年11月24日発行

三川っ子だより

No.12

修学旅行

11月17日、18日に修学旅行に6年生が全員揃って行ってきました。1日目は、社会科で学習した関ヶ原の本陣跡の散策から始まり、彦根城、県立琵琶湖博物館に行きました。彦根城ではゆるキャラのひこにゃんも登場し、今昔を満喫しました。2日目は、肌寒さはありませんでしたが、近江商人の流通網である水郷めぐりをした後、たぬき村での信楽焼体験を楽しみ帰校しました。バスから降りてくる子どもたちの表情から活動の充実を感じました。

9月の緊急事態宣言もあり、修学旅行が実施できるかどうか、心配された時もありましたが、行き先を広島から変更したり、貸切バスにしたりするなど、コロナ禍でもできる限りの対策を講じ実施することができました。6年生の御家庭の支援はもちろん、地域の皆様の御協力のおかげです。ありがとうございました。



充実した校外学習

11月に入り、各学年で学校から離れての学習が行われています。三川小学校 HP (<https://mitsukawa-e.fukuroi.ed.jp/>) にも掲載していますので、御覧ください。

<1年>



生活科の学習「たのしいあきいっぱい」で、身近な自然と触れ合い、季節の変化に気付いたり、遊びを工夫したりすることができるようエコパに行ってきました。

アサギマダラの蝶も観ること

ができ、たくさんの秋に囲まれながら、指導員さんの話を聞き、自然物や友達と触れ合い、笑顔いっぱい活動することができました。



<2年生>



生活科の学習「みんなでつかう、まちのしせつ」で、公共物使用のマナーやルールを守ることの実践をしに、天竜浜名湖鉄道に乗り、花鳥園へ行ってきました。

家族でも車移動が多い時代になり、電車に乗る機会が減多になり子どもたちのドキドキワクワクが伝わってきました。花鳥園で



は、それぞれのゾーンで餌を購入し、優しく声を掛けながら鳥たちと接していました。

<5年生>



社会科の学習「わたしたちの生活と工業生産」で、製造にかかわる人の工夫や努力、製品の輸送に関する特色を知ingことを目的に、日研フードと園芸流通センターに行ってきました。自分たちの身近な地域に、全国に流通する食品や野菜を作っていることに驚きました。そして、生産することへの苦労や努力を知ることができました。



どの学年の活動も、このように行えるのも御家庭での体調管理やお子さんへの前向きな声掛けのおかげです。本当にありがとうございます。

お知らせ & お願い

今後の漢字検定について



11月5日(金)に漢字検定、11月12日(金)には算数検定が行われました。3・4・5年生全員と6年生の希望者が受検しました。監督者として多くの地域の方々に御協力をいただき、実施することができました。今年度で3年目になる検定ですが、回を重ねるごとに6年生の希望者が増えたり、自分自身の受検級に向けて自主的に学習する姿が見られたりするようになりました。



先日、マチコミでもお伝えしましたが、今後、漢字検定は「地域ぐるみで教育力を高めていこう」という思いで、地域の方が子供たちと一緒に検定に挑戦することはもちろんのこと、地域の方の協力を得ながら運営をしていくことを特色として周南たちばな学園では進めてまいります。「家族みんなでやってみようよ」とお子さんから声を掛けられたら、是非、チャレンジしてみてください。

新型コロナウイルス感染症対策による出欠の取り扱いについて

現在の袋井市の感染状況を踏まえ、「新型コロナウイルス感染症に対応した袋井市学校教育活動ガイドライン」がレベル1に下げられました。それに伴い、これまで、同居家族に風邪症状が見られた場合は欠席をお願いし、出席停止としていましたが、12月より、登校可といたします。ただし、同居家族が、過去2週間に感染拡大が心配されている地域に行った、感染者と接触した可能性がある等の場合は、登校を控えるよう御協力をお願いいたします。

袋井市地域防災訓練への参加について

12月5日(日)午前9時から各自治会で地域防災訓練が予定されてます。特に高学年の皆さんは、これからの地域防災の担い手となっていく存在です。御家族一緒に積極的な参加をお願いします。